

- 把握された年の脳卒中発症者全数に占める再発者の割合は、前期で23.1%(男27.1%、女19.0%)、後期で22.7%(男25.3%、女20.3%)であり、大きな変化はみられないものの、男性の方が再発の割合が多い傾向が見られた。  
再発予防の取り組みが必要である。  
年代別発症の中で再発の占める割合は40～50才代では低く、60才以上では高い傾向であった。(図は略)

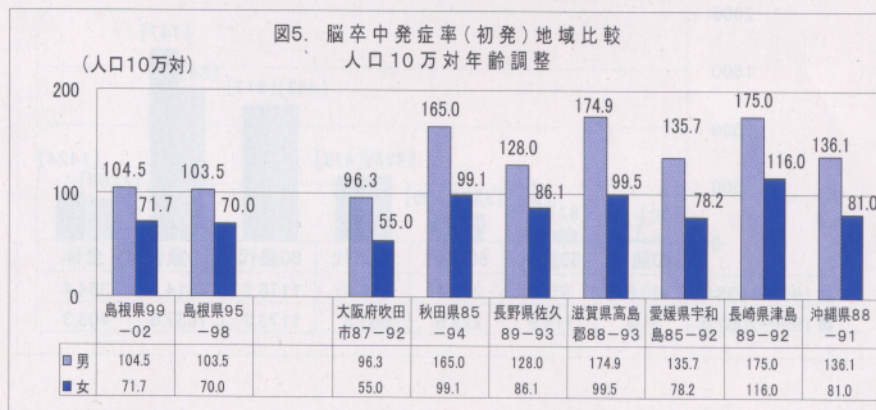
### Ⅲ 島根県の脳卒中発症の低減目標(～2010年)

- 脳卒中発症の低減目標を設定するために、他地域の脳卒中発症率との比較を行った。

地域比較をするために初発の脳卒中年齢調整発症率を算出すると、島根県の前期では男性103.5、女性70.0であり、後期では男性104.5、女性71.7である。

この値は入手したデータ(秋田県脳卒中発症登録2004.3作成および厚生省班研究「脳卒中と心筋梗塞の地域別比較」)のうち大阪府吹田市に次いで低い状況であった。

これらを踏まえ、島根県における脳卒中発症をさらに減少させるために、大阪府吹田市の発症率を参考として、初発の年齢調整発症率の低減目標を、男性96.0、女性55.0として対策を推進する。



## 島根県における脳卒中初発発症率低減目標

(人口10万対年齢調整発症率)

男性	104.5 → 96.0
女性	71.7 → 55.0

- ・ 1995年から1998年に発症した症例の再発率についてみると、発症後1年以内の再発率は、脳卒中全体で2.1%～3.0%であった。内訳は、くも膜下出血0～1.2%、脳梗塞2.5%～4.2%、脳出血1.5%～2.2%である。また、5年間の累積再発率は、脳卒中全体で6.8%～8.8%であった。このことから発症5年目までの年平均再発率は、1.4%～1.8%であった。

これらを踏まえ、再発率の低減目標を、発症後1年以内1.5%以下、5年間の累積再発率5.0%以下(発症5年目までの年平均再発率1.0%以下)を目標として取り組みを推進する。

表1. 脳卒中の再発の状況(島根県1995～1998発症者)

	初発年	1995年	1996年	1997年	1998年
1年以内再発率(%)	くも膜下出血	1.2	0.0	0.0	0.0
	脳梗塞	2.6	4.2	2.7	2.5
	脳出血	2.2	1.6	1.7	1.5
	全体	2.4	3.0	2.1	2.1
当該年発症者の 5年累積再発率(%)	くも膜下出血	3.6	2.3	2.1	0.0
	脳梗塞	7.5	11.5	8.9	8.7
	脳出血	6.1	5.6	8.4	6.3
	全体	6.8	8.8	8.1	7.3
当該年発症者の 5年間の1年平均 再発率(%)	くも膜下出血	0.7	0.5	0.4	0.0
	脳梗塞	1.5	2.3	1.8	1.7
	脳出血	1.2	1.1	1.7	1.3
	全体	1.4	1.8	1.6	1.5

## 島根県における脳卒中再発率低減目標

発症後1年以内の再発率	2.1%～3.0%	→	1.5%以下
発症後5年以内の累積再発率	6.8%～8.8%	→	5.0%以下